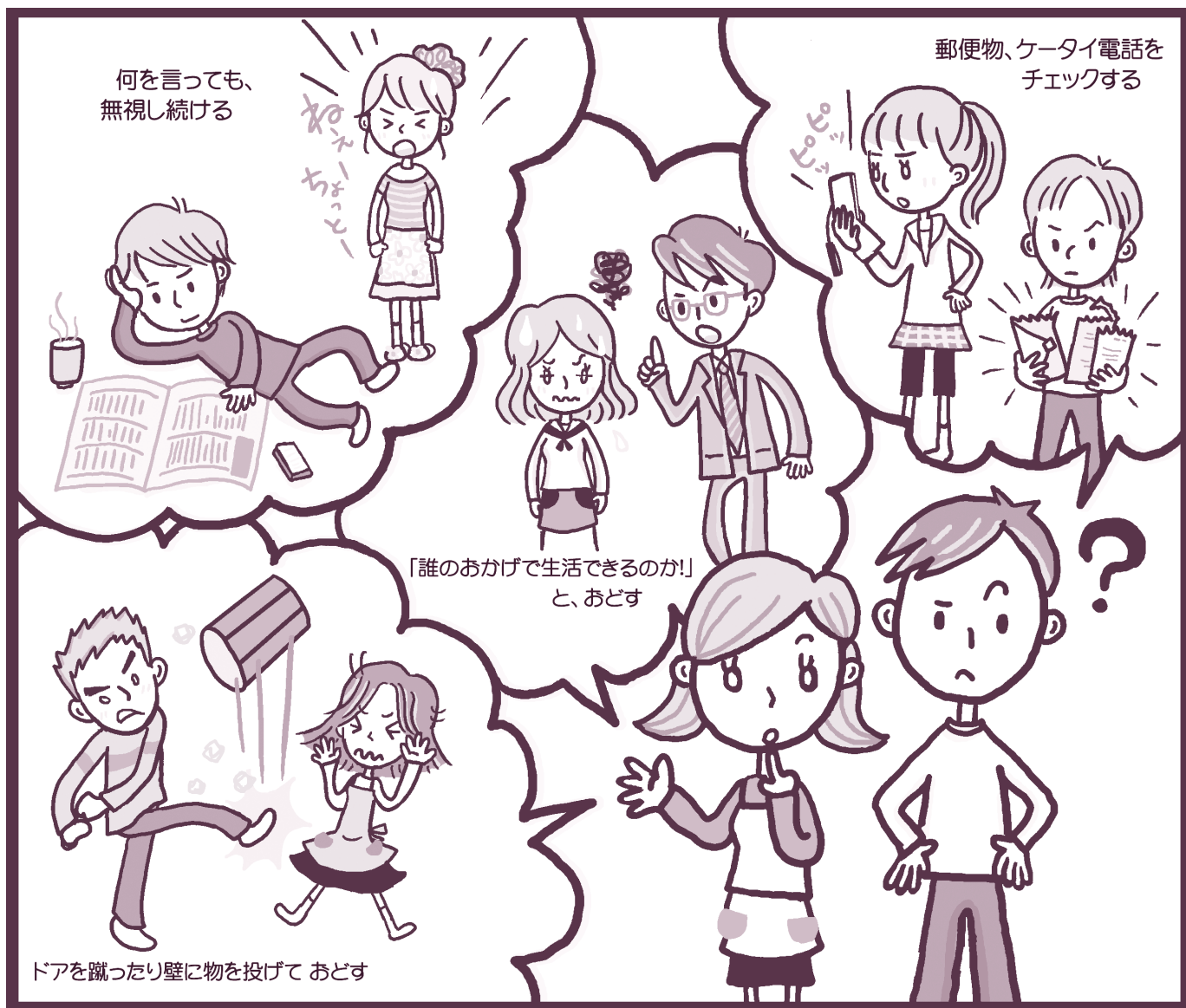


# Partner

## パートナー Vol. 41 2011.11 蕨市

### 蕨市男女共同参画情報紙

パートナーとは…  
女性と男性が共に明るい地域社会を築き上げようという意味と、市民の皆さんと市が共に手をたずさえていこうという願いが込められています。



### 特集

## P-2 ドメスティック・バイオレンス(DV)を考える

### P-6 第3回イクメン・カジメン フォトコンテスト作品募集

わらびのイクメンをさがせ!  
あほ 阿保 ただし 匡司さん(塚越在住)

### P-7 インタビュー 蕨市コミュニティバス ぷらっとわらび バス運転手に聞く

### P-8 ●インフォメーション ●蕨市の女性登用

## インフォメーション

### 男女共同参画事業のお知らせ

#### 男女共同参画サポート研究委託事業

#### 父親・母親を楽しもうプロジェクト

●けるっこパーク(未就園児のためのプレーパーク)  
毎月1回、平日に開催中。  
開催日程は、どろんこの王様ブログで確認できます。

どろんこの王様



時間: 10時~13時  
場所: 蕨市錦町6丁目ちびっこ広場No. 34

#### ●勉強会その1. プレーパークってどんなところ? ~プレーパークに行ってみよう!~

日時: 11月14日(月) 県民の日 9時30分~16時  
行き先: 渋谷区はるのおがわプレーパーク  
定員: 親子10組 交通費実費  
申込み: 11月10日までに西公民館(TEL 048-442-4054)

#### ●勉強会その2. 『見守る』ことから生まれるもの(講演会)

日時: 1月30日(月) 10時~12時  
場所: 西公民館 ※託児有  
詳しくは広報蕨1月号でご確認ください

■問い合わせ先【外遊びを考える会「どろんこの王様」】  
メール: doronkonousama@gmail.com

#### 男女共同参画サポート研究委託事業

#### シェイプアップマザーズ ~スペシャル~

産後の骨盤底筋トレーニングを中心とした体のメンテナンスを体験しませんか?

日時: 2月29日(水) 10時~11時45分  
場所: 東公民館  
対象: おおむね産後1年以内の女性(託児あり)  
申込み: 2月1日から募集します。  
詳しくは広報蕨2月号。

■お問い合わせ: 東公民館(TEL 048-442-4052)  
【塚越フレッシュママ応援団】

### 編集後記

『男女共同参画』という言葉、響きも堅い、漢字ばかりで読んで難しいですね。でも、平たく言えば「男女が協力して、暮らしやすい社会を作っていくまじょう」ということです。言葉に負けない災害が、あった今年。ほとんど男性ばかりの防災会議にも、女性の視点が入るとよい良いものが生まれるような…。新しい年が、良い年でありますように。(大)

#### パートナー編集委員大募集!

年齢・性別は問いません。一緒に楽しく男女共同参画を学びながら、パートナーの編集をしてみませんか? 初心者大歓迎

### 女性の心と生き方相談

- DV
- 離婚
- 子育て
- 家族関係
- 仕事
- 対人関係
- 介護
- セクハラ
- 性や身体の悩み
- 自分のこと

誰にも話せなかった悩み  
どうぞご相談ください

女性カウンセラーが、あなたの心の整理をお手伝いしながら、一緒に解決の糸口を探していきます。秘密は厳守いたします。事前予約制ですので、まずはお電話ください。

毎月第1・2・3・4金曜日  
13時30分~16時30分

(相談時間は一人50分間です)

- ・相談は無料です。
- ・相談は個人面談です。電話でも相談に応じます。

【予約・お問合せ先】

市民活動推進室 TEL 048-433-7745  
予約受付時間は、平日8時30分~17時15分

### 女性登用 蕨市の現状は?

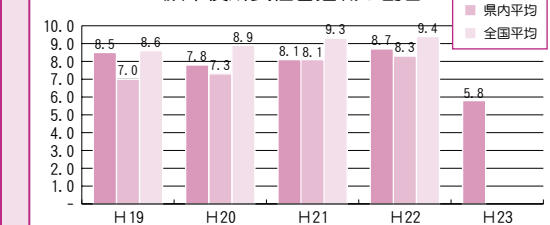
男女共同参画の進み具合を示す指標の一つに審議会等の女性委員登用率と市町村職員女性管理職の割合があります。本市の審議会等女性委員の登用状況の女性委員数の割合は、昨年より少し下がりましたが、県内で3番目に高い割合です。しかし、蕨市役所の女性管理職の割合は、今年度はかなり低くなっています。

#### 審議会等の女性委員の登用状況

平成	審議会等の総数(a)	うち女性を含むもの(b)	比率(b)/(a)(%)	委員総数(c)	うち女性委員数(d)	比率(d)/(c)(%)
23年度	46	42	91.3	728	245	33.7
22年度	45	43	95.5	728	247	33.9
21年度	41	38	92.7	703	235	33.4
20年度	41	38	92.7	695	238	34.2
19年度	39	34	87.2	655	226	34.5

審議会とは、市政推進にあたって特定の内容を市民や各種団体の意見を反映するために、法律等に基づいて設置されたものをいいます。

#### 蕨市役所女性管理職の割合



※管理職とは課長及びこれに相当する職以上とします。  
※H23年度の県内平均および全国平均はまだ出ておりません。

# これってもしかしてDVなの？

ドメスティック・バイオレンス(DV)を考える

## 性的暴力

- ・嫌がるのに性行為を強要する
- ・見たくないのにポルノを見せる
- ・避妊に協力しない

## 経済的暴力

- ・必要な生活費を渡さない
- ・家庭の収入をにぎって教えてくれない



## 精神的暴力



- ・大声で怒鳴る
- ・暴力をふるうと言っておどす
- ・殴るふりをしておどす
- ・ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけておどす
- ・何を言っても長時間無視する
- ・交友関係や行動を監視したり制限したりする
- ・「誰のおかげで食べられるんだ」と見下して言う

## 身体的暴力

- ・殴る、平手でぶつ
- ・足で蹴る、髪を引っ張る
- ・引きずり回す、首を絞める
- ・胸ぐらをしめ上げる
- ・物を投げつける
- ・刃物などの凶器を突きつける
- ・突き飛ばしたり、壁に叩きつけたりする



## DVとは

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは配偶者(事実婚や元配偶者も含む)から繰り返し受ける暴力のことで、被害者の多くは女性です。DVは、上の図のように、殴る、蹴るなどの「身体的暴力」だけでなく、言葉や態度で繰り返し相手を攻撃する「精神的暴力」や、性的行為を強要するなどの「性的暴力」、生活費を渡さないなどの「経済的暴力」があります。これらの暴力は単独ではなく、複数の暴力が重なり合っている場合が多く、エスカレートしたり、長期にわたって繰り返され、被害が深刻になることが多くあります。

## 蕨市の調査結果から

平成22年度に蕨市が行った「配偶者からの暴力に関する調査」では、女性の4人に1人(26.9%)が、配偶者から何らかの暴力を受けた経験があると答えています。また、被害経験が「何度もあった」と答えた女性は、身体的暴力が5.6%、精神的暴力が7.6%、性的暴力が3.6%となり、繰り返し暴力を受けている方が多くいることが分かりました(下グラフ参照)。なお、蕨市の調査結果は全国平均とほぼ同じ傾向に

### 配偶者からの被害経験

#### 身体に対する行為

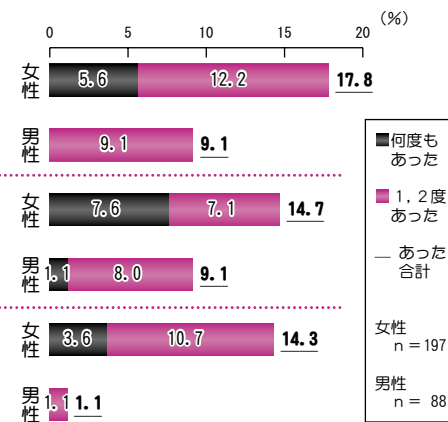
殴られたり、蹴られたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する行為を受けた。

#### 精神的な嫌がらせ、脅迫

人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家庭に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。

#### 強制的な性行為

嫌がっているのに、性的な行為を強要された。



### 配偶者からの暴力に関する調査

- 対象 20歳～69歳の市民1,000人(女性500人、男性500人)
- 調査期間 2010年7月9日～30日
- 回収率 37.0% 内(女性47.8% 男性23.4%)
- 調査項目 意識、加害経験、被害経験相談、被害者への援助や防止策

なっています。

## なぜDVが起こるのか

DVは、これまでの歴史の中で築かれ引き継がれてきた女性差別を根底とした「女性は男性に従うべき」という考え方や、男女の社会的地位の格差や経済的格差など、男性優位の社会構造が背景にあるとされています。加害者は、自分の思うとおりになるよう力で相手を支配し、コントロールするための手段として暴力を用いています。対等な関係で起こる「ケンカ」とは異なるのです。加害者は「怒らせるのはお前が悪い」「お前が言うとおりにしていれば暴力は振るわなかった」など、自分の暴力を正当化します。しかし、暴力は犯罪ともなる行為であり、どんな場合でもどんな理由があろうとも許されるものではありません。暴力をふるわれる側が悪いのではないのです。

## どんな人が加害者に？

加害者に特定のタイプはなく、年齢や社会的地位、職業、収入も様々です。普段の外での顔はとも穏やかに暴力をふるうように見えない人もいます。共通していることは、男性優位の社会環境、家庭環境の中で育ち、暴力で相手を服従させること

を無意識のうちに学習してしまったことです。

## なぜ逃げないのか

被害者は、いつ暴力をふるわれるか分からないという緊張感や恐怖感のもとで、不眠、頭痛、動悸などの症状が現れたり、中にはうつ症状があらわれる人もいます。日常的に暴力を受けていると、自分は何の価値もない人間なんだと思いつき、無力になってしまいます。被害者は「悪いのは私」という思い込みから自分を責め、「私さえ我慢すれば」と自分に言い聞かせてしまい、次第に力を奪い取られたような状態になっていきます。また、経済的な不安や、今まで築いてきた人間関係を捨てることへの不安、子どもの就学問題な

## 子どもへの影響

子どもにとっても、その影響は深刻です。DVを見せること自体が心理的虐待を受けているのと同じだと言われていますし、親から身体的・精神的暴力を受け虐待につながることも少なくありません。子どもの時に、殴られたり言葉の暴力を受けている様子を身近に見ていると、無意識のうちに感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを覚えてしまうこともあります。これが、暴力の再生産につながり、DVや児童虐待が世代間連鎖すると言われるゆえんです。

## DV防止法

被害者を守るための法律があります

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」は、被害者の保護や支援を目的として作られた法律です。

【保護命令】とは、被害者の申立てにより、裁判所が加害者に出す命令のことで、「被害者への接近禁止命令」「被害者の子または親族等への接近禁止命令」「電話等禁止命令」「退去命令」といった種類があります。

【一時保護】とは、被害者と同伴する子が、一時的に加害者の暴力から逃れ、専用の保護施設で一定期間生活することをいい、自立にむけた相談、援助が受けられます。

### 配偶者等からの暴力に関する調査 自由意見より(抜粋)

#### 20歳代女性

まだ現状ではDVをする方、される方もDVの認識がないように思います。セクハラや痴漢などのようにいけないことだという意識を育てていく必要があると思います。



#### 30歳代女性

身体への暴力よりも言葉の暴力で精神的にまいってしまう方もいると思いますが、外傷がないため、なかなか話を相談できないと聞きました。そのような場合の対策も考えてほしいです。



#### 40歳代女性

被害者が耐え続けるのは、恐怖と逃げ場がないこと。先が見えないことなど、たくさん理由があるのですが、不幸な状態、異常な状態であることを当事者たちが気付くことや、改善するための手段を提示できる人が近くにいることが必要なかもしれません。



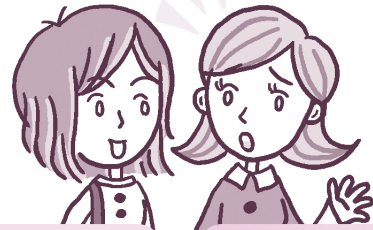
#### 60歳代男性

高齢者世代には、男女共同参画の考えが薄い。その背中を見て育った世代も女性軽視が少しはあると思う。職場でも、いまだ男性優位のきらいがある感じがする。男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することが当たり前になってほしい。



# 一人で悩まず 相談してみよう

友だちの様子が  
おかしい…  
もしかしてDV?



相談を受けたら  
どうしたらいい?

不審なあざがある、最近誘っても会ってくれなくなったなど、DVを受けているのではないかと感じたら、「何か困っていることはない?」と声をかけてみましょう。1回では話してくれないかもしれません。DVを他の人に知られたくない、恥ずかしいと感じる方は多いものです。それでも、いつかは話してくれるかもしれません。「あなたのことが心配だよ。いつでも相談にのるよ」と言ってあげてください。

DV防止法では、配偶者からの暴力を受けている者を発見した人は、その旨を配偶者暴力相談支援センター、警察官に通報するよう努めることとなっています。被害者の意思を確認することが大切ですが、危険だと感じた場合は、迷わず通報してください。

被害を受けている方の話をじっくり聞き、ありのままに受け入れてあげてください。暴力は、ふるう方が絶対的に悪いのですから、「あなたは悪くないよ」と言ってあげてください。そして相談機関の情報(下記を参照)を提供してあげてください。

**\*NGワード(言ってはいけない言葉)\***  
「相手の言い分も聞いてみないと…」  
「暴力をふるうのはそれなりの理由があるのでは」「あなたにも悪いところがあるからじゃない?」  
という言葉は、被害者の心を深く傷つけ、相談を続ける気持ちをなくさせてしまいます。とにかく、ありのままに受け入れてあげることが大切です。

## 相談窓口

相談機関	電話番号	相談日時
蕨市役所 市民活動推進室 (DV相談)	048-433-7745	月~金 8時30分~17時15分 祝日および年末年始を除きます。
蕨市女性の心と生き方相談 (フェミニストカウンセラーによる相談)	予約は蕨市役所市民活動推進室 048-433-7745	毎月第1・2・3・4金曜日 13時30分~16時30分 (相談時間は一人50分間) 祝日および年末年始を除きます。
埼玉県婦人相談センターDV相談室 (県配偶者暴力相談支援センター)	048-863-6060	月~土 9時30分~20時30分 日・祝 9時30分~17時00分 年末年始を除きます。
With You さいたま (県男女共同参画推進センター)	048-600-3800	月~土 10時00分~20時30分 (第3木曜日除く) 祝日および年末年始を除きます。
蕨警察署	048-444-0110	
さいたま地方法務局 (女性の人権ホットライン)	0570-070-810	月~金 8時30分~17時15分 祝日および年末年始を除きます。

### パープルリボン

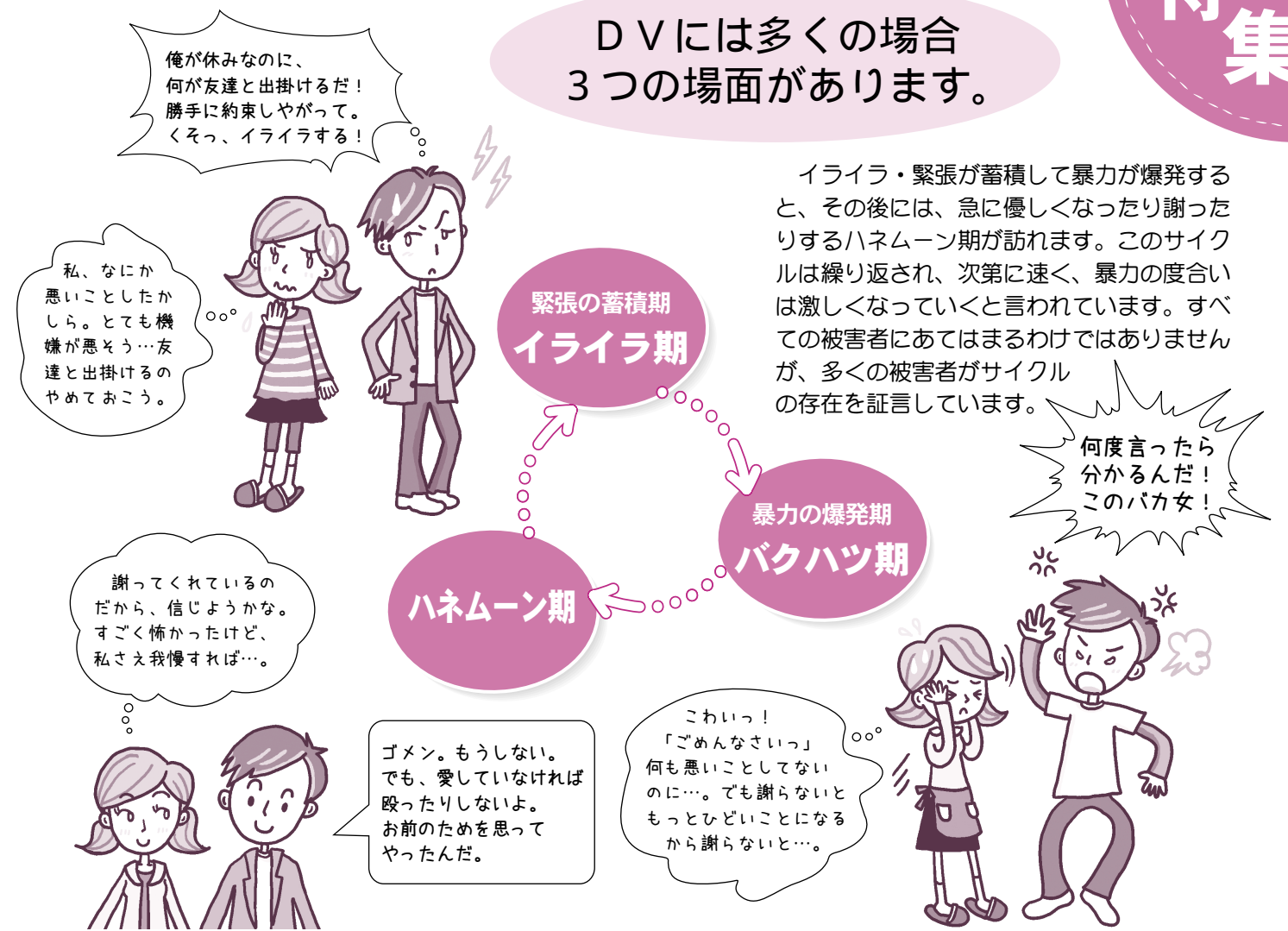
毎年11月12日~25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。期間中、この運動のシンボルであるパープルリボンにちなんでDV防止の啓発活動が全国的に展開されます。

パープルリボンは、身につけたり、飾ったりすることで女性への暴力をなくしたいという意思表示につながります。

### 蕨市DV防止基本計画(仮称)

蕨市は今年度「DV防止基本計画(仮称)」を策定します。現在、蕨市男女共同参画推進委員会からいただいた提言をもとに、庁内の男女平等行政推進会議で素案の検討をしています。11月中には、パブリックコメントを行い、市民の皆さんからのご意見を募集します。多くの皆さんのご意見をお待ちしております。2月には、DV防止の講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。詳しくは蕨市役所ホームページに掲載いたします。

DVには多くの場合  
3つの場面があります。



## 若者の間でもおこる

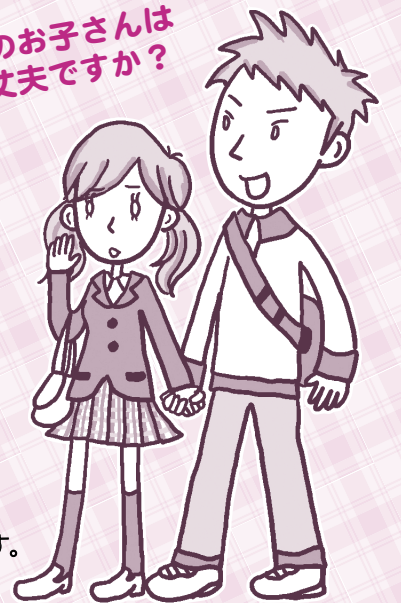
# デートDV

DVは配偶者間だけのものではありません。交際中の恋人から受ける暴力を「デートDV」と言います。平成20年の内閣府の調査では、10代、20代の女性の7人に1人が「デートDV」を受けたことがあるという結果が出ています。

- デートDVチェックリスト
- いつも一緒にいることを要求する
  - 嫉妬心が強い
  - 異性とのメールや電話を禁止する
  - 異性のメールアドレスを消去する
  - メールが頻繁で、すぐに返信しないと怒る
  - 行動の全てを知りたがる
  - 髪型や服などの好みを押し付ける
  - 気に入らないとすぐに怒る、または無視する
  - 相手の気持ちを無視して性行為を強要する
  - 避妊に協力しない
  - 「バカ」「ブス」「死ぬ」など傷つくことを言われる

上の項目に一つでもチェックが付いて、それを嫌だ、辛いと思っているのに、「イヤ」と言えない、逆らえない…それが「デートDV」です。相手が怒るのは自分が悪いからだと思っていませんか？束縛されるのは、愛されている証拠だと思っていませんか？相手を怒らせないように行動していませんか？やさしい時もあるし、いつか変わるのではないかと期待していませんか？これらを「恋愛」だと思い込むことによってデートDVは問題を深刻化させています。デートDVは周りが気付きにくいのが特徴です。悩んでいる方はぜひ相談を！

あなたのお子さんは大丈夫ですか？



コミュニティバス  
ぶらっとわらび

# バス運転手に聞く

国際興業株式会社  
松縄新子さん・飯島郷子さん

インタビュー



蕨市コミュニティバス「ぶらっとわらび」の前で。左から、松縄さん、飯島さん

**「ぶらっとわらび」の特徴は？**  
松縄さん…住宅街の狭い道も走るのが特徴です。お客様層はお子様から高齢の方まで幅広いですし、路線バスよりも市民の方により身近なバスだと感じます。

**「ぶらっとわらび」の運転手は？**

松縄さん…私は以前、タンクローリーの運転手として長距離を走っていました。年齢を重ねても運転ができる職業はないかと考えてバスの運転手に転職しました。  
飯島さん…私も2トトラックの運転手でした。トラックを運転中、バスの運転手で女性の方を見かけて、興味を持ったのがきっかけです。  
松縄さん…バスの運転手になるには二種免許が必要ですので、合宿で2週間の講習を受けて免許を取りましたが、結構大変でした。  
飯島さん…今までは荷物を乗せて運転していましたが、二種免許の講習で、人を乗せての運転の違いがとても勉強になりました。バスの運転席から見ると鏡の多さにびっくりしましたし、常に後ろからも見られているという緊張感もあります。

松縄さん…お客様が乗ってこられることもよくあります。そんな時は、「お時間ありますか？」とお伺いした上で、「ぶらっとわらび」で1周されることをお勧めすることがあります。裏道なども走るので、道を覚えやすいです。よって話しています。

**「ぶらっとわらび」のコースで**

松縄さん…おしゃれなお店を見つければ、一度行ってみたいかなと思います。市民公園は家族連れでにぎわっていますね。  
飯島さん…桜の季節はなんといっても市民公園が素晴らしいですね。それと、私は市民体育館の近くのお宅のバラがきれいで大好きです。住宅街の中を走りますから、家々の木や草花など季節感を味わうこともできます。

松縄さん…蕨に引越してきたばかりというお客様が乗ってこられることもよくあります。そんな時は、「お時間ありますか？」とお伺いした上で、「ぶらっとわらび」で1周されることをお勧めすることがあります。裏道なども走るので、道を覚えやすいです。よって話しています。

**「ぶらっとわらび」のコースで**

松縄さん…私は以前、タンクローリーの運転手として長距離を走っていました。年齢を重ねても運転ができる職業はないかと考えてバスの運転手に転職しました。  
飯島さん…私も2トトラックの運転手でした。トラックを運転中、バスの運転手で女性の方を見かけて、興味を持ったのがきっかけです。  
松縄さん…バスの運転手になるには二種免許が必要ですので、合宿で2週間の講習を受けて免許を取りましたが、結構大変でした。  
飯島さん…今までは荷物を乗せて運転していましたが、二種免許の講習で、人を乗せての運転の違いがとても勉強になりました。バスの運転席から見ると鏡の多さにびっくりしましたし、常に後ろからも見られているという緊張感もあります。

## 第3回 男女共同参画作品募集事業

# イクメン・カジメン フォトコンテスト

あなたのまわりにいる育児や家事に積極的な男性の写真を募集します。



昨年度のカジメン大賞  
中村賢祐さん  
作品名「そうじ太郎」

## イクメン部門

育児を楽しむ男性「イクメン」とお子さんとの楽しいひとときの写真をエピソードを添えてお送りください。



## 昨年度のイクメン大賞

安藤洋子さん  
作品名「おでかけしよう」

## カジメン部門

家事に積極的な男性「カジメン」の料理や掃除、洗濯などを行っている写真をエピソードを添えてお送りください。



イクメン・カジメンの年齢は問いません。孫の育児をする男性や家のお手伝いする男の子も立派なイクメン・カジメンです！

## 作品募集

— 応募のご案内 —

募集期間

11月1日～12月28日 必着

応募資格：蕨市内に在住または在勤の方

募集テーマ：**【イクメン部門】 育児を楽しむパパと子どもの写真&エピソード**

**【カジメン部門】 家事を頑張る男性の写真&エピソード**

応募規定：各部門、それぞれ1人1点とします。応募写真のサイズは、2L判サイズ(127mm×178mm)です。

応募写真には、裏面に応募者氏名、タイトルを記入してください。応募作品は、自作・未発表のものに限ります。

写真は被写体の方の承諾を得たうえで、ご応募お願いします。応募作品は返却いたしません。

作品は蕨市の男女共同参画推進のため、ホームページや啓発紙への掲載展示等に活用させていただきます。

審査：第1次審査：1月11日(水)～27日(金) 市役所ロビーにて市民投票

第2次審査：第1次審査で得票の多かった作品、審査員が推挙した作品の中から選考

表彰：イクメン大賞・カジメン大賞 各1点 優秀賞2点

各賞には表彰状および副賞を授与します。

応募先：所定の応募用紙により、市民活動推進室へ郵送または持参のこと。12月28日必着

応募用紙は市役所、市内各公民館で配布。ホームページからもダウンロードできます。

〒335-8501 蕨市中央5-14-15 電話 048(433)7745

イクメン大賞の副賞  
「父と子の立体手形アート」



エンジェル・ハート様提供  
(蕨市南町)

## わらびのイクメンをさがせ!

あほ だだし 匡司 さん (嫁越在住)



左から  
匡司さん、詠子ちゃん、妻の文子さん

みなさん、こんにちは。  
私は、阿保詠子。今年の5月に生まれました。ママは私を産むと実家には行かず、パパの待つお家にそのまま帰ってきたのよ。というのには、ママの実家は長崎で、パパの実家は青森。帰るのも遠く、おばあちゃんたちが来てもらうのも大変。そんな状況なので、パパは一大決心をしたよ。というのよ。育児休業を取ろう。パパの会社では、今までに育児休業を取った先輩が何人かいたとのこと。でも、いざとなったらあちらこちらに挨拶をしてちょっと大変だったみたい。  
パパが取った育児休業は1カ月。毎回の食事の支度やお掃除、お洗濯などに加えて、ママと一緒に私のお世話。スゴイでしょ！  
今、パパは「子育ては片手間でできない、真剣に向き合おうって思った。あの1カ月は大きかったな。仕事優先の生活がリセットできた」って言っています。ママは「パートナートしてパパを選んだ私の目には狂いはなかったわ」だって。慣れない1カ月はパパとママが2人で(私も入れて)頑張ったこと、私、大きくなって忘れられないよ。  
「パパ、ありがとう」

## 運転で気を付けていることは？

飯島さん…住宅街を走行しているので、飛び出しに注意しています。それと、やさしい対応がしら。  
松縄さん…私が気を付けていることは、ミラーなどを細かく見ることで。お客様が乗車されてから座席に座られるまでしっかりと確認し、特に高齢の方には慌てないように、「ゆっくりでいいですよ」と声をかけるようにしています。

## うれしかったことは？

松縄さん…「ぶらっとわらび」のお客様は降りの際に「よろしくお祈いします」や「ありがとう」を言っていました。などの声をかけてくださる方が多く、それがうれしいですね。  
飯島さん…私も同じです。「親切にしてくださいってありがとう」と言っていた時は、この仕事をやっていてよかったと感じました。

今回は、蕨市コミュニティバス「ぶらっとわらび」を運転している、国際興業株式会社のバス運転手のお二人に、お話を伺いました。バスの運転手という職業は、これまで男性の職業と考えられていたのですが、今では女性も少しずつ増え、国際興業戸田営業所には3人の女性運転手がいます。

今後ますます、女性の職域が広がれば、女性の活躍の場が広がることで、生き生きと輝く女性が増えていくことを、今回インタビューを通じて感じました。